

関係各位

レンゴー株式会社
広報部

サプライチェーン上のGHG排出量算定を産業界全体で 効率化する「一次データ流通基盤」共同実証実験に参画

レンゴー株式会社は、ユニ・チャーム株式会社が同業他社や各種資材メーカー、ならびにIT企業へ共同を呼びかけた、脱炭素社会に向けた「一次データ^{*1}流通基盤」構築のための実証実験に参画することをお知らせいたします。なお「一次データ流通基盤」の構築は、国内の日用品業界において初めての試みです。

今回の実証実験は、GHG排出量の算定に必要となる一次データを共通のプラットフォーム上で流通させることを目的として行うもので、日用品メーカーと資材メーカーによる安全なデータ流通を目指しています。本実証実験およびその後の実装に向けた取組みを通じて、デジタル技術を活用して一次データの流通を促進し、GXやDXによるGHG排出量の削減を推進します。

*1一次データ

算定主体である事業者が自らの責任で収集する自社で測定したデータ（例：自社製品製造の消費電力量等）や外部ステークホルダーへの聞き取り調査（例：取引先の自社関連排出量の直接把握）を行って収集したデータ等。

■実証実験の概要

1. 参画企業（五十音順）

日用品メーカー	花王株式会社 大王製紙株式会社 ユニ・チャーム株式会社 ライオン株式会社
資材メーカー	エム・エーライフマテリアルズ株式会社 JNC株式会社 住友精化株式会社 TOPPAN株式会社 株式会社日本触媒 三菱ケミカルグループ株式会社 レンゴー株式会社
システム提供	NTTコミュニケーションズ株式会社
全体事務局	デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

2. 実証内容

① サプライチェーン連携の効率化

データベースプラットフォームを介してデータ授受を行うことで、データ提供会社が個別対応せずとも受信会社が必要な情報を受け取ることができるか否かを確認します。

② データ秘匿性の確保

今回使用するプラットフォームは、中央集権型のデータベース^{*2}とは異なり、データ提供会社と指定された開示先にのみ保存される分散型の仕組みを採用しており、安全なデータ流通の実用性を検証します。

^{*2} 中央集権型のデータベース

全てのデータが中央のサーバーに保存される仕組み。多様なデータを1カ所に管理することで、多くの人がそれぞれの目的で利用できる。

3. スケジュール

● 2024年7月～9月：実務者協議実施

関係者が集まり、システムに必要な要件やデータ流通の課題等実証実験に向けた具体的な内容を協議しました。

● 2024年10月予定：実証実験開始

一次データをサプライチェーン企業間で流通させる実証実験を開始します。

● 2024年12月予定：実証実験終了

実証実験を終了させ、データ流通の効果や課題を評価し、次のステップに向けた取組みを検討します。

● 2025年以降：実証成果の公表および社会実装に向けた検討

実証の成果を公表し、サプライチェーン全体でのデータ流通プラットフォームの社会実装に向けた準備を進めます。

以上